

エバラ食品工業株式会社

エバラ食品の事業概要と新中期経営計画

2020年2月15日
エバラ食品工業株式会社
証券コード：2819

本日の流れ

- ① 会社紹介
- ② エバラ食品グループ 新中期経営計画「Unique 2023」
- ③ 株式・IRについて
- ④ 持続的な成長に向けたステークホルダーとのつながり

会社紹介

エバラ食品グループ

ポイント：創業以来「おいしいものをさらにおいしく」の想いで、時代のニーズを捉えた「市場になかった商品」を展開。

1958年



創業当時の荏原食品
ソースとケチャップの製造開始

1968年



『焼肉のたれ』発売
『札幌ラーメンの素 (みそスープ)』発売

1978年



『黄金の味』発売

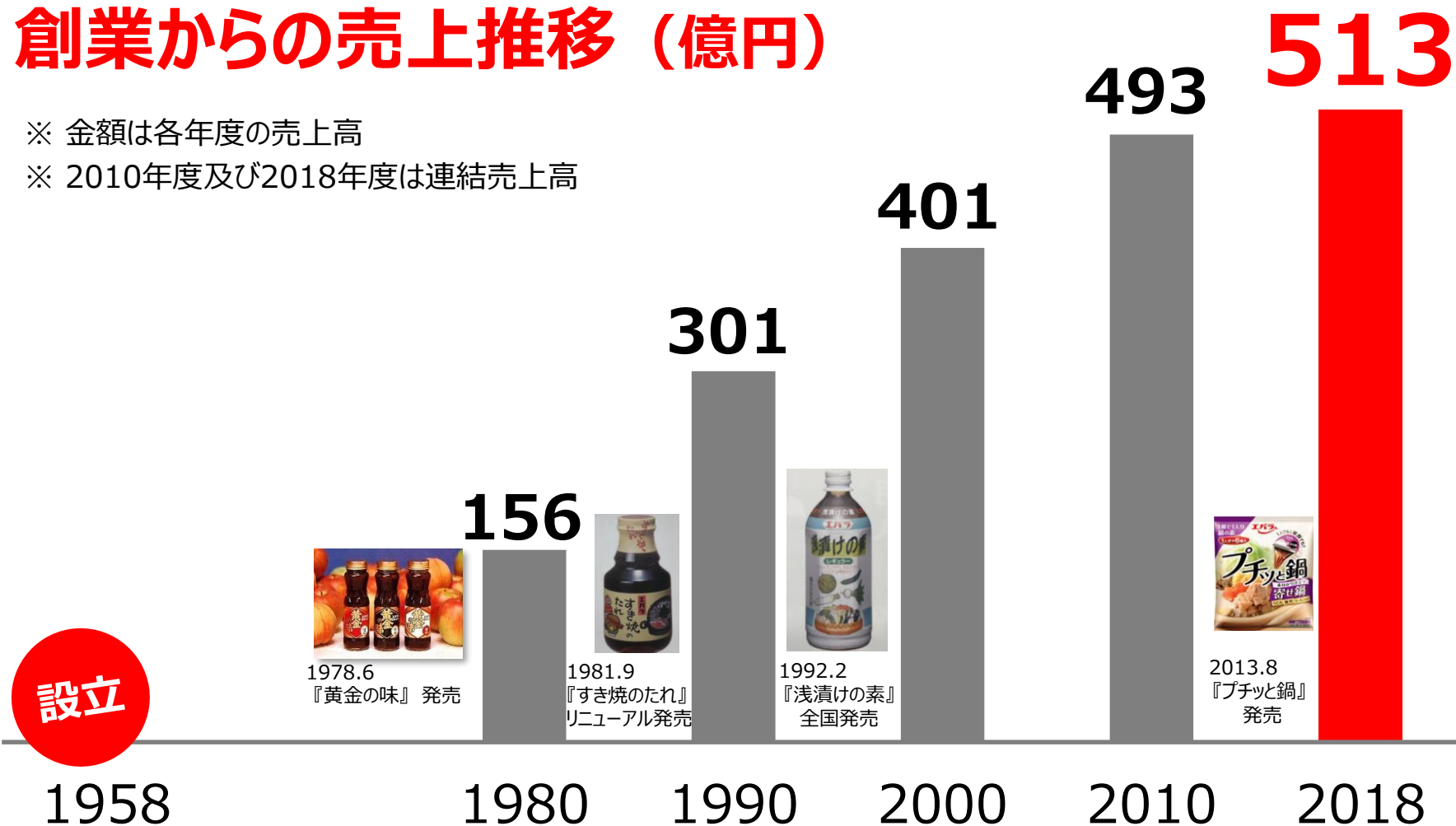
エバラ食品グループ

ポイント：創業以来、各時代のニーズに寄り添った商品開発を通じて、右肩上がりに売上を伸長。

創業からの売上推移（億円）

※ 金額は各年度の売上高

※ 2010年度及び2018年度は連結売上高



エバラ食品グループ

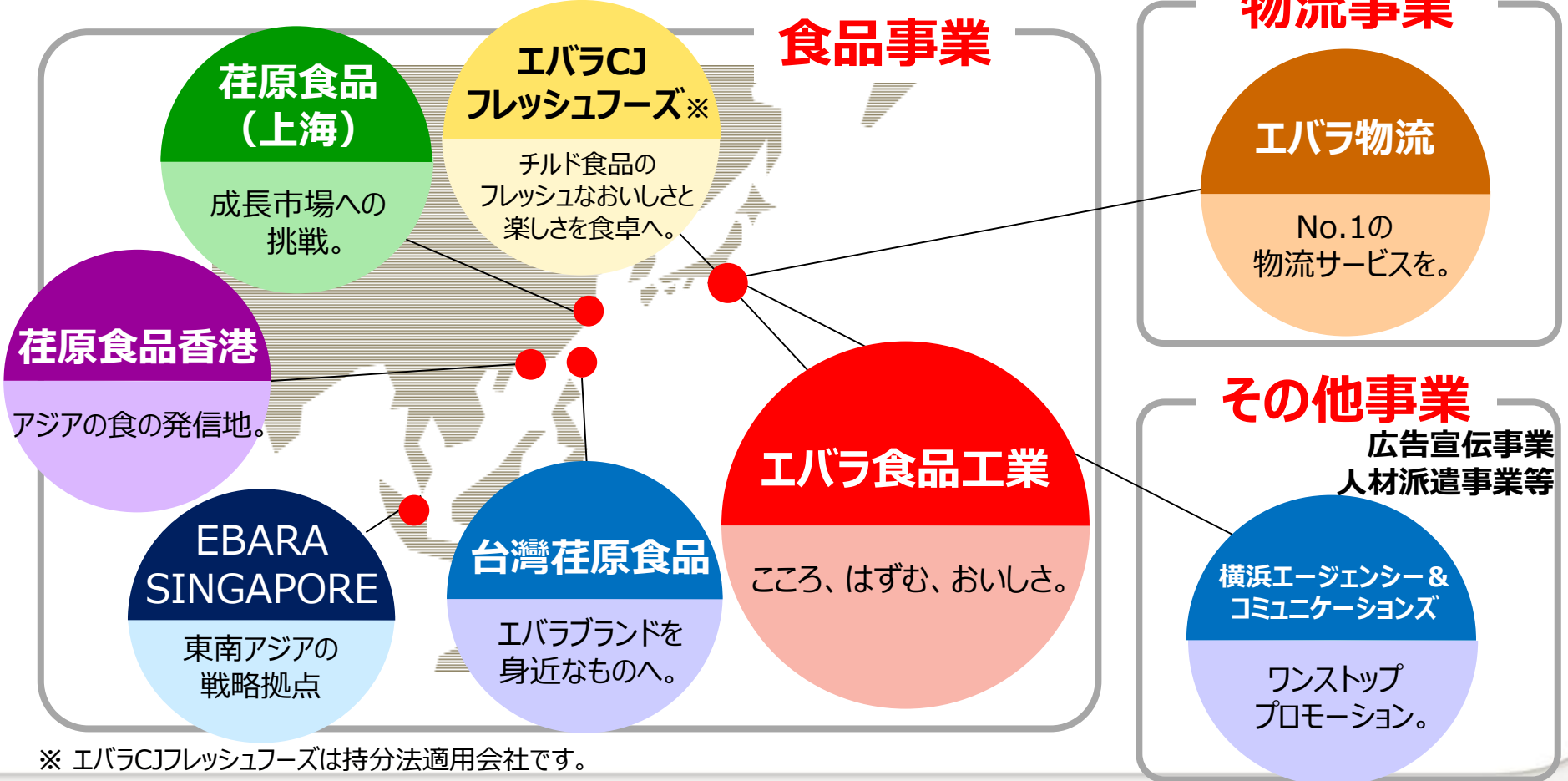
ポイント：従業員規模はグループ全体で700名強。国内外含めた食品事業のほか、物流・広告宣伝等の事業を運営。

連結対象会社数 7社

(うち、連結子会社 6社、持分法適用会社 1社)

連結従業員数 744名

(2019年3月末時点)



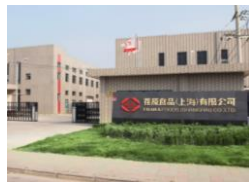
※ エバラCJフレッシュフーズは持分法適用会社です。

エバラ食品グループ ～ 海外事業の取り組み ～

ポイント：東アジア、東南アジアを中心にたれ文化を訴求。東南アジアのR&D体制の構築に向け、マレーシア駐在事務所を新設。

荏原食品(上海)有限公司 (2005年設立)

- ✓ 上海市に工場を保有
(焼肉のたれ等を製造)
- ✓ 広州地方への販売展開
- ✓ 日系卸との連携強化



海外輸出

- ✓ 海外専売品開発



荏原食品香港有限公司(2012年設立)

- ✓ 焼肉のたれ、すき焼のたれ、
豚骨ラーメンスープ等を展開
- ✓ 堅調に新規取引を拡大



台湾荏原食品股份有限公司(2017年設立)

- ✓ 現地問屋との深耕拡大
- ✓ 家庭用調味料の販売も注力
- ✓ SNS活用によるメニュー訴求



EBARA SINGAPORE PTE. LTD.(2018年設立)

- ✓ マレーシア向け商品の拡充
- ✓ 日系企業の惣菜やお弁当に活用



マレーシア駐在事務所

- ✓ 今期5月に開設(登記)
- ✓ 原料供給ルート確保
- ✓ 商品の研究開発等の機能
- ✓ CFI※社との連携



エバラ食品グループ ～トップシェアの商品群～

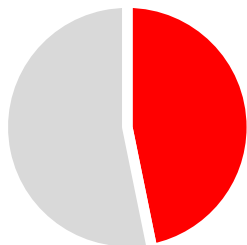
ポイント：時代のニーズを捉えた先発商品をリリースし、継続的な広告宣伝等の訴求により現状でもトップシェアを維持。

焼肉のたれ

市場規模
198億円



46.8%

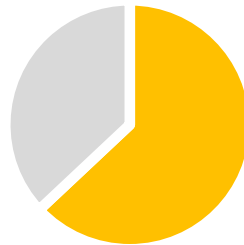


すき焼のたれ

市場規模
76億円



63.0%

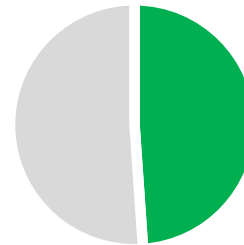


浅漬けの素

市場規模
61億円



48.9%



出典： インテージSRIデータ 焼肉のたれ・すき焼のたれ・浅漬けの素市場
(2018年4月～2019年3月 累計販売金額・金額シェア)

商品のご紹介

キムチ鍋の素



- ・ 魚介の旨味を効かせたコク深い味わい
⇒ 酸味と辛味を抑えたマイルドタイプも展開

担々ごま鍋の素



- ・ ごま約15,000粒が生み出すコク(右写真参照)
⇒ ねりごまたっぷりでカラダもよろこぶ味わい

なべしゃぶ



- ・ つけダレ不要のお手軽さ
⇒ カット野菜とお肉があれば、つゆをくぐらすだけ
- ・ 手軽なのに美味しい
⇒ 「香味油」とほど良い「酸味」がお肉の旨味を引き立てる

手軽で新しい「しゃぶしゃぶスタイル」を創出

横濱舶来亭カレーフレーク



- ・ 直火製法を採用
⇒ 焙煎特有の良い香りとコク深さが特徴
- ・ 生の野菜や果実を多数使用
⇒ フレッシュなおいしさを実現

実はそうなんです！

「エバラ横濱舶来亭カレーフレーク」は
カレーフレークシリーズで売上げNo. 1 ※

韓Kitchen

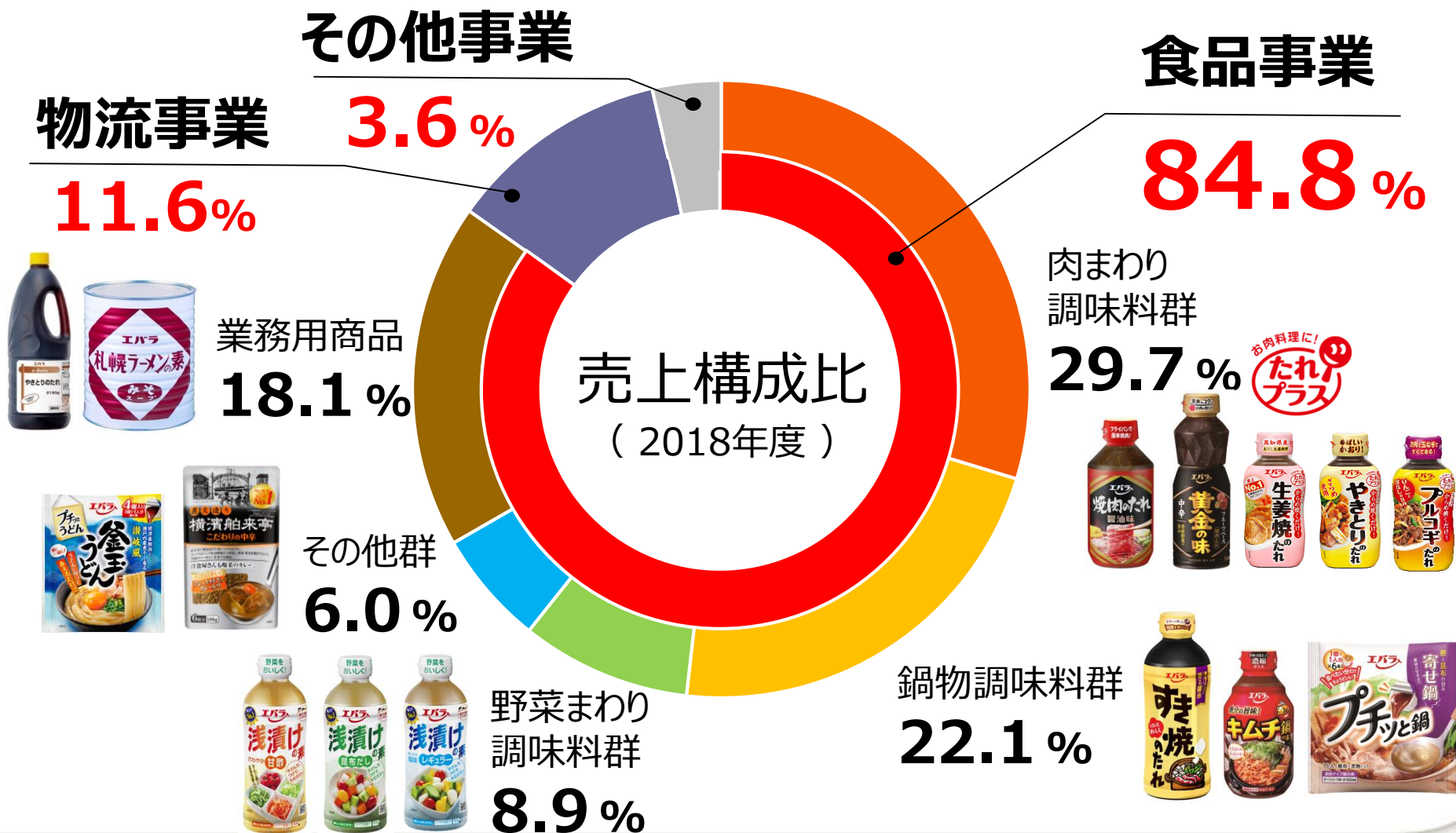


- ・ 具材入り調味料
⇒ 自宅で簡単に韓国メニューが調理可能
- ・ 3つのラインアップ
⇒ ビビンバ・チャプチェ・チヂミを展開



エバラ食品グループ

ポイント：食品事業において、家庭用事業が約8割。肉まわり調味料だけでなく、鍋物調味料も広く展開。



エバラ食品グループ 新中期経営計画 「Unique 2023」



ポイント：2019年度から2023年度までの5か年の経営計画を策定。大きな時代変化に備え、各事業の収益力向上に注力。

Unique 2023

(2019年4月～2024年3月)

～エバラらしさの追究～

I. コア事業による収益強化 と 戦略事業の基盤確立

- ・事業の根幹であるコア事業においては更なる収益強化を目指す
- ・戦略事業においては当社の将来成長のための収益基盤化を目指す

II. “エバラらしく&面白い” ブランドへの成長

- ・これまで積み上げてきた“エバラらしさ”に、「冒険、反論、失敗の自由」から生まれる“独自性”＝“面白さ”を加え、エバラブランドの成長を目指す

2023年度
連結数値目標

営業利益	28億円
海外売上高	20億円
ROE	6%

Unique 2023 ～基本戦略のイメージ～

ポイント：競争の源泉である人材の成長に軸を置き、独自性・面白さに磨きをかけ、各事業の高質化を推進。

コア事業による収益強化

家庭用 / 業務用 / 物流 / 広告宣伝 / 人材派遣



戦略事業の基盤確立

海外 / チルド / CVS / EC等



エバラの競争力の源泉：ブランドと**人材**

“エバラらしく＆面白い” ブランドへの成長

働き方改革への対応

- ✓ フレックス勤務の運用拡大

コミュニケーションの進化

- ✓ 全従業員へのスマートフォン付与 (コミュニケーションの軸をパソコンからスマートフォンへ転換)
- ✓ デジタルシフトプロジェクト推進

自発的成長支援

- ✓ 人事評価制度の改定
- ✓ 自発的成長支援制度の推進

SCM※の推進

- ✓ SCM本部の新設
- ✓ 配送ロット見直しの推進

【行動指針】 冒険・反論・失敗の自由

※サプライチェーンマネジメントの略称

2020年3月期 第3四半期（4～12月）の概況

売上高：	40,489百万円	前年同期比	100.3 %
営業利益：	2,466百万円	前年同期比	99.1 %

- ・ 肉まわり調味料群は『極旨焼肉のたれ』が伸長。全体ではほぼ横ばいの進捗
- ・ 鍋物調味料群は『すき焼のたれ』『プチッと鍋』『なべしゃぶ』などの貢献により105.3%と好調
- ・ 『なべしゃぶ』は身近な素材で手軽に楽しむ提案型のコミュニケーションが奏功し、大幅に伸長
- ・ 物流事業は取り扱い量が増加し、継続して伸長



事業カテゴリー	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
肉まわり調味料	11,897	99.7
鍋物調味料	9,822	105.3
野菜まわり調味料	3,604	94.6
その他商品	2,209	97.0
家庭用商品	27,533	100.6
業務用商品	7,064	99.3
物流事業	4,573	101.4
その他事業	1,318	96.5

Unique 2023 ～『黄金の味』の売上伸長～

ポイント：リニューアルにより収益力が更に向上。多様なニーズに向け、豊富な商品・容量ラインアップを展開。

	旧品	リニューアル品
容量ラインアップ (市販品のみ)	 <p>210g 400g 590g</p> <p>3ラインアップ</p>	 <p>42g x 3 210g 360g 480g 590g</p> <p>5ラインアップ</p>
販売戦略	<p>売上数量の向上</p> <p>価格よりも売上数量を優先</p>	<p>価値訴求</p> <p>価格ではなく、商品がもつ価値を訴求</p> <p>販売費の低減により、収益力強化</p>
価格ニーズへの対応	<p>価格訴求により価格ニーズにも『黄金の味』が適合</p>	<p>価格ニーズに向けた新定番のたれとして『極旨焼肉のたれ』を展開</p> 

容器バリエーションの訴求、『極旨焼肉のたれ』との連動を軸に、店頭露出を強化

『黄金の味』の直近の取組

ポイント：顧客ニーズの更なる多様化や環境負荷の軽減等、時代への適合に向け日々進化を続ける。

■新テイスト「さわやか檸檬（レモン）」を発売

- 32年ぶりの新テイストの発売
- 「さっぱりとした味わいで楽しみたい」というお客様のニーズに対応
- レモンのさわやかな風味を表現しながらも、酸味はほどよく抑え、果実のコクとやさしい甘みを感じられる味わい



黄金の味 さわやか檸檬

■『黄金の味』シリーズの賞味期限を延長

- 従来の賞味期限12か月から18か月に延長(2020年2月1日生産分より)
- 食品ロス削減を通じた、SDGs 実現への取り組みを推進

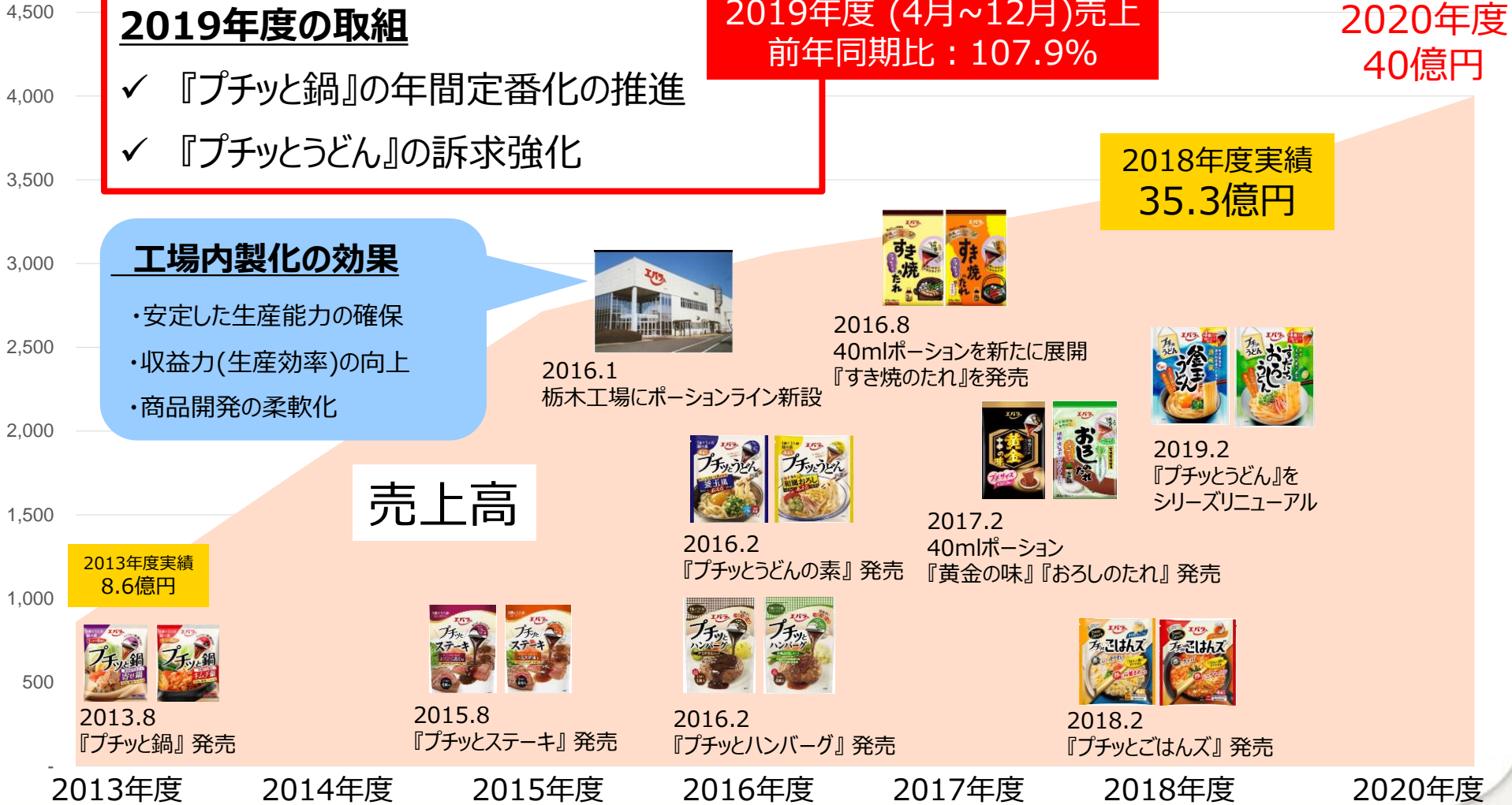


『黄金の味』 工場動画再生 (約5分)

Unique 2023 ～ポーション調味料の歩み～

ポイント：用途の幅を広げ、年々売上高を伸長。今期も年間定番化訴求の奏功等により、好調に推移。

(百万円)



『プチッと鍋』 工場動画再生 (約2分)

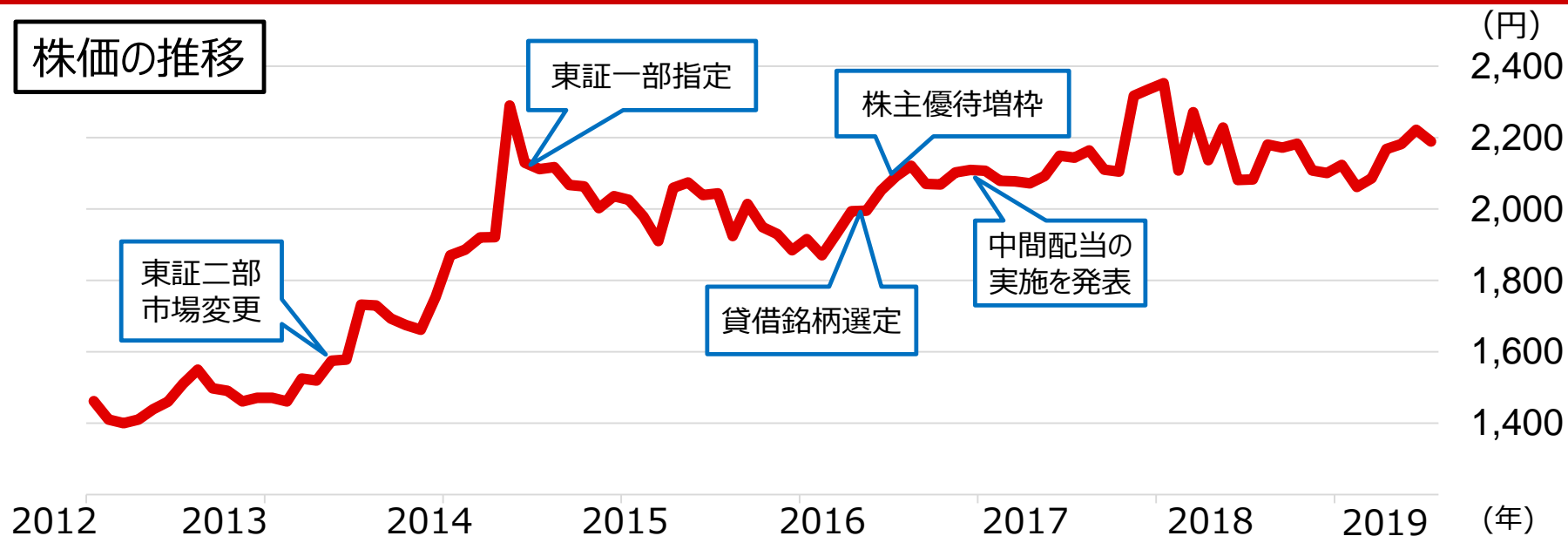
株式・IRについて



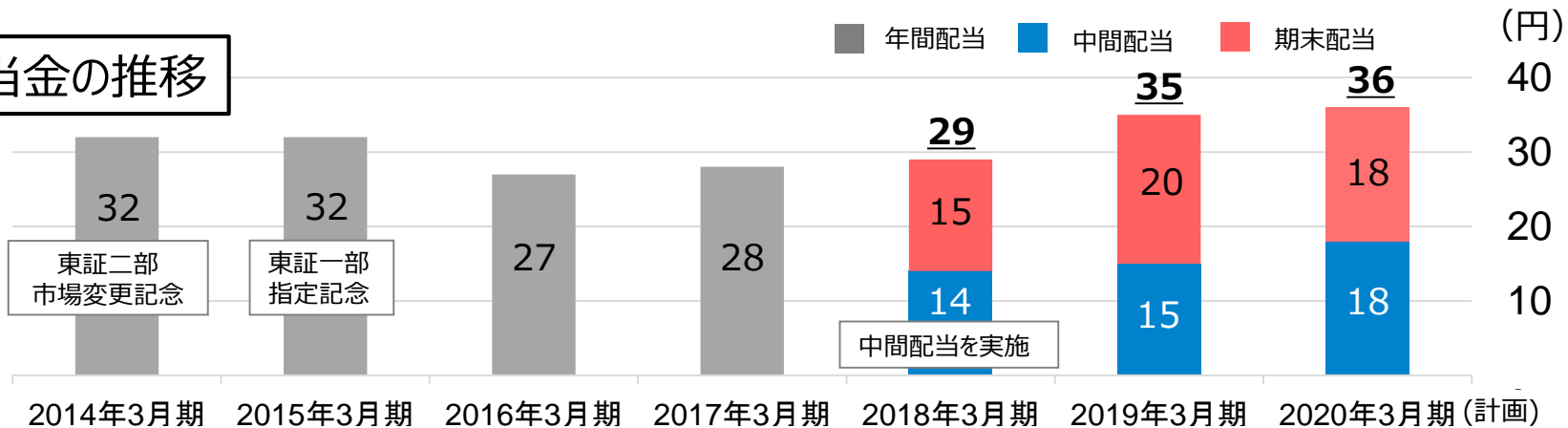
株価・配当の推移

ポイント：株価は長期の視点で右肩上がりに推移。配当金も安定配当を軸に4期連続の増配を計画。

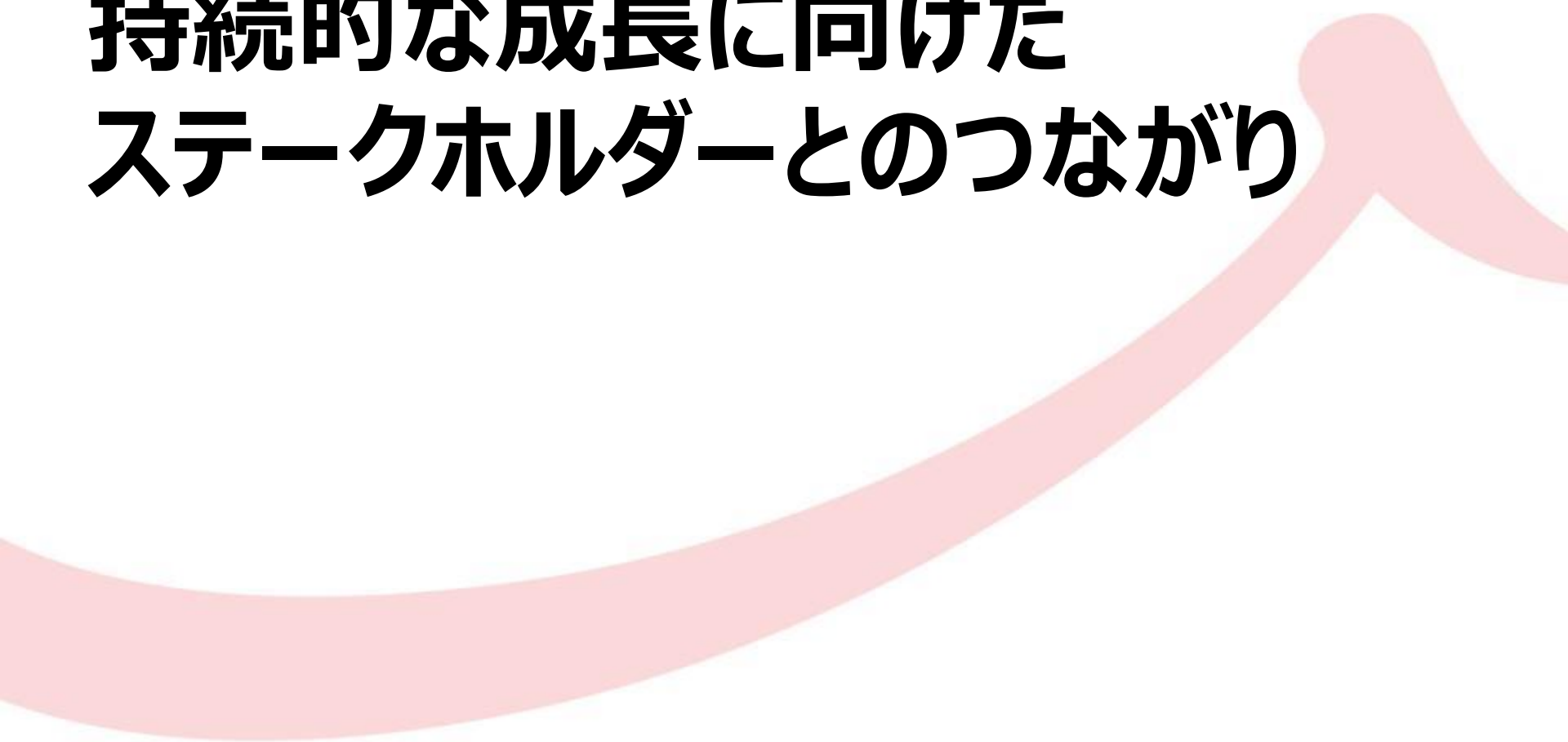
株価の推移



配当金の推移
















持続的な成長に向けた ステークホルダーとのつながり



社会の課題解決に向けた重点テーマと具体的な施策

ポイント：事業活動を通じたSDGs等を踏まえた社会的価値の創造に向け、ESGをテーマとした活動を推進。

	テーマ	具体的な施策	SDGsとの関連
中長期な 持続可能性に 関する要素	E 資源の有効活用と 地球の持続可能性への対応	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー活動 容器や包装の軽量化・薄肉化 OA用紙の削減 廃棄物の削減 リサイクル化の推進 など 	  
	S 健康な心と体、 おいしさがつながる絆づくりの提供	<ul style="list-style-type: none"> 食育活動 BBQ大会 お弁当がつながる絆づくり 被災地支援活動 など 	 
	S 安全・安心な商品・サービスの 提供と、新たな価値の創造	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心への取り組み 工場見学 新価値創造に向けた商品開発 など 	 
	S 組織と人材の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 働きやすさ、働きがいのある環境整備 チャレンジ精神と自発的成長文化の醸成 など 	   
企業価値を 高める上での 規律 (土台)	G ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> コーポレート・ガバナンス体制構築 内部統制 リスクマネジメント、BCP(事業継続計画) 	 

参考資料

エバラ食品グループ経営理念・行動指針

【経営理念】

「こころ、はずむ、おいしさ。」の提供

わたしたちは、お客様への情熱とチャレンジ精神を力に、
「人を惹きつける、新しいおいしさ」と
「期待で胸が膨らむ、ワクワクするおいしさ」を通じて、
人と人との絆づくりの機会を広げていきます。

【行動指針】



【エバラ食品グループは、これまでも、これからも「創業の思い」を大事にしています】

「おいしいものを、さらにおいしく。」

生産体制・工場紹介

ポイント：『黄金の味』、『すき焼のたれ』等の主力商品生産工場を東西に保有。全国への安定供給が可能。

【主な生産品】

- ・がらスープ
- ・ラーメンスープ



津山工場



群馬工場



栃木工場



【主な生産品】

- ・『黄金の味』
- ・『浅漬けの素』
- ・『すき焼のたれ』



【主な生産品】

- ・『黄金の味』
- ・『プチッと鍋』
- ・『浅漬けの素』



事業内容について 【食品事業:家庭用事業・業務用事業】

■ 家庭用事業 (市販商品販売)

【基本的な商品流通】

メーカー (エバラ)



問屋(卸)

- ①問屋(卸)に商品を販売
- ②問屋から小売(スーパー)に販売

小売(スーパー)

主な問屋：国分
三菱食品
日本アクセス

【販売促進に向けた活動例】

- ・ 商談対応(問屋・小売バイヤー)
- ・ 店頭試食販売
- ・ 消費者キャンペーン
- ・ テレビCM訴求
- ・ 調理メニュー訴求(ホームページ)

家庭用事業の当社の強み

- ・ 『黄金の味』等のトップシェアを誇る商品群
- ・ ブランド認知度の高さ
- ・ 高品質な製品づくりを可能にする品質管理体制

■ 業務用事業



【基本的な商品流通】

家庭用事業同様に問屋を通じたエンドユーザーへの販売

【主なエンドユーザー先】

- ・ 外食店(一般・チェーン)…居酒屋・ラーメン・中華など
- ・ 給食(学校・産業)
- ・ コンビニ(惣菜・弁当)
- ・ ホテル

【販売促進に向けた活動例】

- ・ 問屋商談対応
- ・ 問屋向け試食会
- ・ 展示会での商品訴求

海外事業は業務用商品を中心に展開

焼肉のたれ、すき焼のたれ、ラーメンスープなど

業務用事業の当社の強み

- ・ 創業当時から培われた高濃度ブレンド技術
- ・ ラーメンスープやがらスープ、鍋用調味料といった多様な商品展開
- ・ 顧客ニーズに柔軟に対応する企画提案力

事業内容について 【物流事業・その他事業】

物流事業



共同配送

全国のパートナー企業と連携し、**食品に特化した**共同配送を展開。エバラ食品の荷物を軸に、**約30社**の食品メーカーの荷物を配送。

倉庫保管

日本各地にネットワークを保有。輸配送と物流センターを効果的に連携し、効率的・高品質・ローコストな物流サービスを実現。

幹線輸送

陸路、航路、鉄道などを活用しながら、最適な幹線配車を実現。

流通加工/温度管理

商品のセット加工、梱包など、流通加工サービスを提供。徹底した管理体制により、安全で良質な商品提供を実現。

物流事業の当社の強み

- ・ エバラ食品の物流部門として長年培ったノウハウ
- ・ 3PL（物流の一括請負）サービスによる包括的な提案力
- ・ 全国にわたる高品質な配送ネットワーク

その他事業

■ 広告宣伝事業

- ・ メディアバイイング※
- ・ 広告の企画・制作
- ・ 販売促進の企画・運営
- ・ 営業活動支援…試食販売・フィールド(現地販促)業務

効率的かつ実効性の高いコミュニケーションサービスを提供。

※広告枠の仕入、買い付けをして、実際に広告掲載をできるようにする一連の業務

■ 人材派遣事業

- ・ 一般人材派遣業
- ・ 有料職業紹介業

神奈川県内を中心に幅広い人材派遣サービスを提供。



広告宣伝事業/人材派遣事業の当社の強み

- ・ 長年の食品の広告宣伝・販売促進業務で培ったノウハウ
- ・ 横浜を中心とした神奈川県のネットワーク
- ・ コミュニケーションから売りの現場までのトータルプロデュース体制

新中期経営計画 第1フェーズ 2019～20年度

エバラ食品グループ 基本戦略

- I. コア事業による収益強化と戦略事業の基盤確立
- II. “エバラらしく&面白い” ブランドへの成長

I. コア事業による収益強化と戦略事業の基盤確立

重要施策

- ・『黄金の味』の売上伸長
- ・ポーション調味料群の市場拡大
- ・基幹ブランド商品の収益力強化
- ・業務用事業の収益力強化
- ・戦略事業の基盤確立に向けた取り組みの強化

II. “エバラらしく&面白い” ブランドへの成長

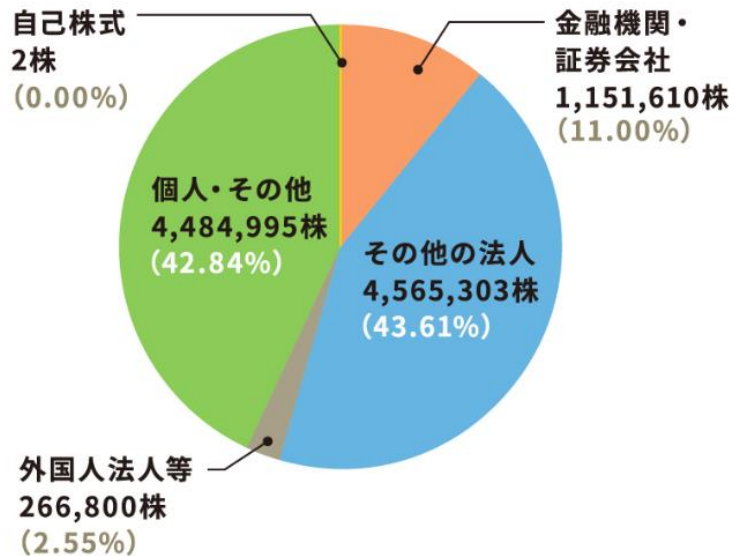
重要施策

- ・組織におけるチャレンジ精神と自発的成長文化の醸成
- ・人事制度改革による職場環境の整備
- ・環境変化をとらえたサプライチェーン全体の最適化
- ・事業活動を通じてのSDGs等を踏まえた社会的価値の創造
- ・デジタルコミュニケーションの発展

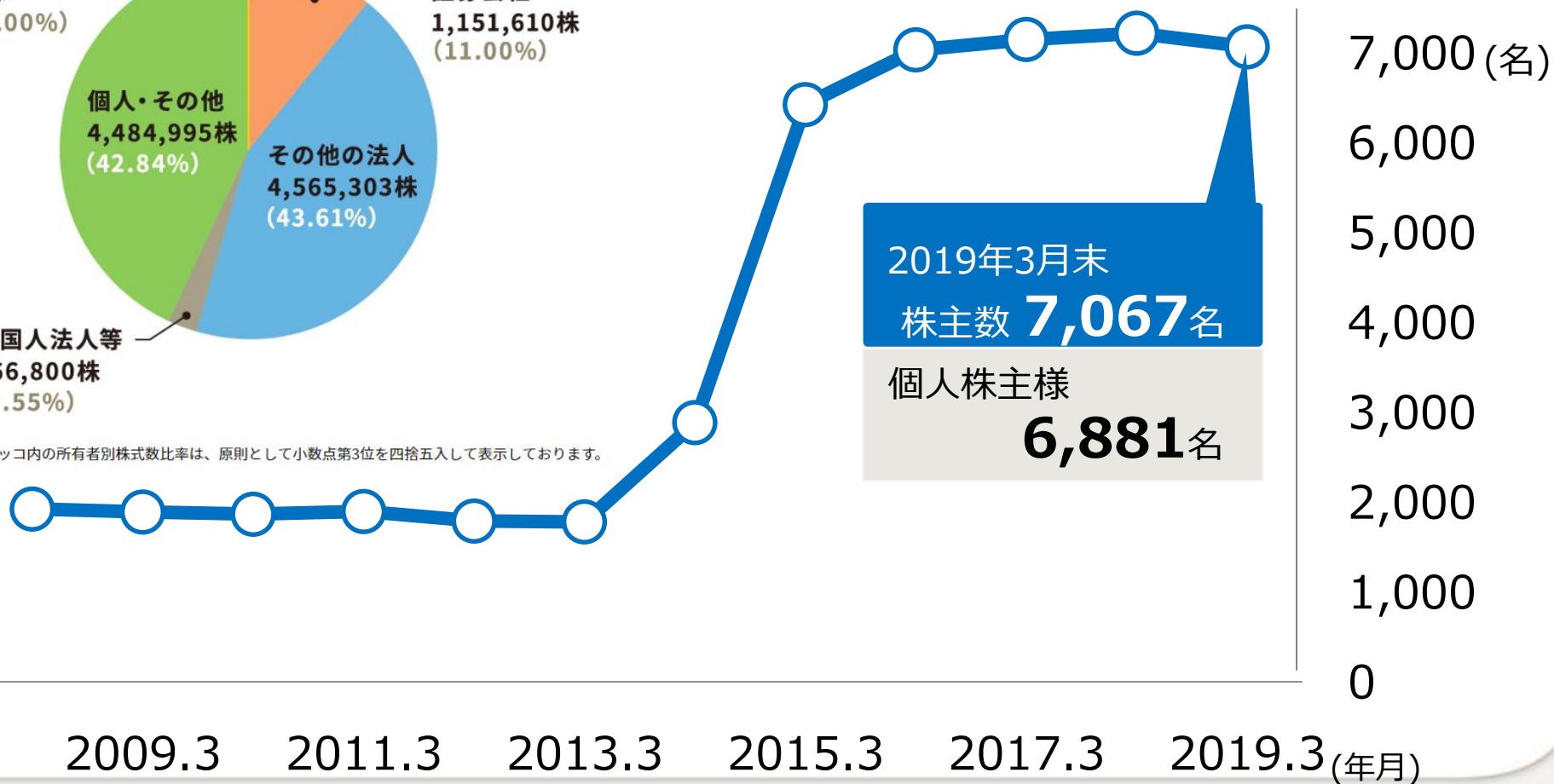
株主数の推移

ポイント：個人株主が全体株主の9割以上を占める。株主数は東証1部指定以降、7,000名前後の推移となる。

(2019年3月31日時点)



※カッコ内の所有者別株式数比率は、原則として小数点第3位を四捨五入して表示しております。



IR活動について

ポイント：「投資家からエバラファンへ」の想いで、個人投資家を軸としたIR説明会や会社説明会を実行。

個人投資家向けIR説明会

・東京、神奈川、名古屋、大阪等の地区にて説明会を開催

※開催時期は不定期

HPでの情報公開

・2017年4月にHPをリニューアル



投資判断上の有益な情報や
商品レシピ情報をお届け

IR・企業情報

エバラ食品工業株式会社
2019年3月期 決算説明会

損益状況(四半期推移)

(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	2018.3	2018.6	2018.9	2018.12	2019.3
売上高	12,214	13,482	14,430	18,350	51,126	51,126	51,126	51,126	51,126
営業利益	1,400	1,200	1,600	2,300	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
経常利益	1,400	1,200	1,600	2,300	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
当期純利益	1,400	1,200	1,600	2,300	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500

代表取締役社長 宮崎 道
取締役 平田 正之

CSR情報

地域・社会貢献活動

わたしたちは、自然やスポーツを通して、人と人との絆づくりや食を学ぶ機会を創出しています。

自然と食を通して深める親子のコミュニケーション

エバラ食品は約50年前から全国各地で親子(トーンベイクス食)を愛用し、4万箱を超えるお母様にトーンベイクス食を届けた親子のみなさまと食の思い出を共有してまいりました。また、当該料子会社の増産で発生した廃棄物を削減し、環境にやさしいお肉の調達を推進し、食に関する知識を深め、食の楽しさを創出しています。大自然のなかで、夏のおこしや、お肉のお肉の味をたのむワクワクする体験を通して、食に関する知識を深め、食の楽しさを創出しています。

商品・レシピ情報

豚焼肉定食

使うのはコレ！ 黄金の味中辛

- 🕒 10分
- 🔥 290kcal
- 🧂 塩分：1g
- 🥩 たんぱく質：13.3g

使うのはコレ！ 黄金の味辛口

- 🕒 20分
- 🔥 377kcal
- 🧂 塩分：1.6g
- 🥩 たんぱく質：21.6g



- 容器、包装の軽量化



- 省エネルギー設備の導入
- 燃焼効率のよいエネルギーの利用
- 工場排水の浄化
- 廃棄物のリサイクル



- 効率のよい輸送
- モーダルシフトの推進



- エコカーの導入
- 返品率の削減



- 分別しやすい容器



- OA用紙の削減
- クールビズ / ウォームビズ
- 節電・節水
- 太陽光発電

● 2018年度を最終年度とする **中長期目標はすべて達成**

● 主な環境指標

対象範囲	管理項目	2018年度目標 (最終年度)	2018年度実績	
エバラ食品グループ	省エネルギー CO ₂ (電気・ガス)の削減	CO ₂ 排出量原単位*1		
	自社3工場	5.0% 削減	5.0% 削減	
	グループ本社(2014年度を基準)	4.0% 削減	6.1% 削減	
	グループ本社以外	5.0% 削減	37.2% 削減	
	省資源 OA用紙の削減	購入枚数	20.0% 削減	20.2% 削減
エバラ食品 単体	リサイクル 返品率の維持	返品率*2	0.20% 以下	0.11%
	リサイクル率の向上	リサイクル率*3	99.0% 以上	100.0%

*1 事業活動による二酸化炭素(CO₂)排出量を生産重量や面積等で割った数値・2013年度を基準とする。

*2 営業活動における商品の返品額を売上で割った数値・2012年度を基準とする。

*3 リサイクルした重量を自社3工場から出た廃棄物量で割った数値・2014年度を基準とする。

【安全・安心への取り組み】

- 商品の開発・設計の全工程を複数の部署で検討・検証・承認する独自の品質保証システム(EQAS)
- 国際的な食品安全規格FSSC22000の統合認証を取得
- 内部監査員の継続育成



JQA-FC0039-1 栃木工場
JQA-FC0039-2 群馬工場
JQA-FC0039-3 津山工場
液体調味料の製造



ESG: 組織と人材の活性化



【人材の活用】

- 働きやすい、働きがいのある職場環境を整備
- チャレンジ精神と自発的成長文化を醸成

ブランド価値向上

組織の成長

自発的な
成長

チャレンジ
精神

働きやすさ
働きがい

心と体の健康



かながわサポートケア企業



食育活動の推進

- 食の大切さや「共食」を学ぶ機会を創出
- 2008年からの累計で**5,000名**以上に



バーベキュー大会

- バーベキューの楽しさをもっと広めることで、食を通じた人と人との絆づくりの機会を広げていく
- 従業員の**3人に1人**がバーベキューインストラクター！

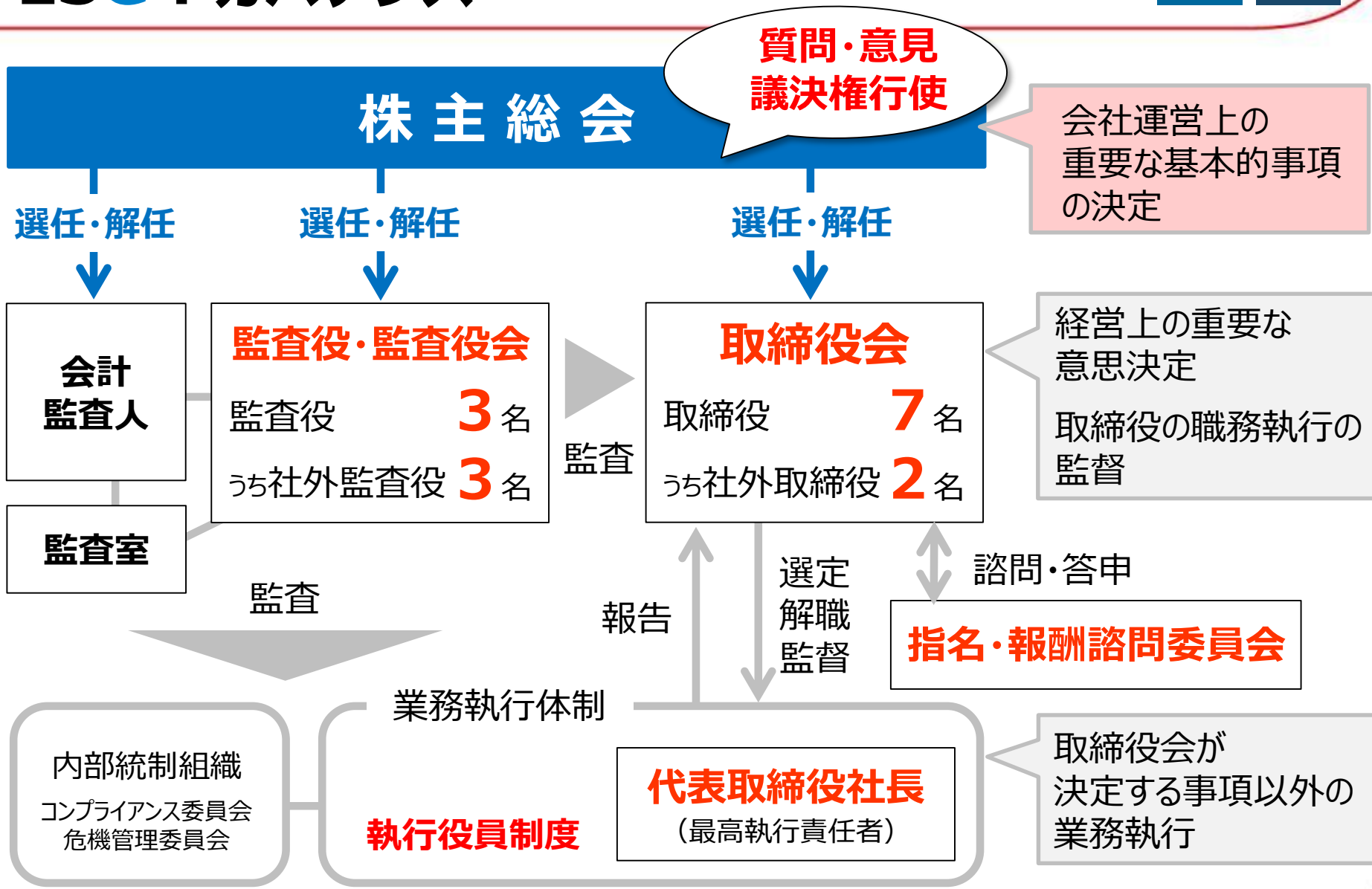


被災地支援活動

- 「みちのく未来基金」による子どもたちへの進学支援
- 基金の常勤スタッフとして1名派遣
- 炊き出し支援活動など



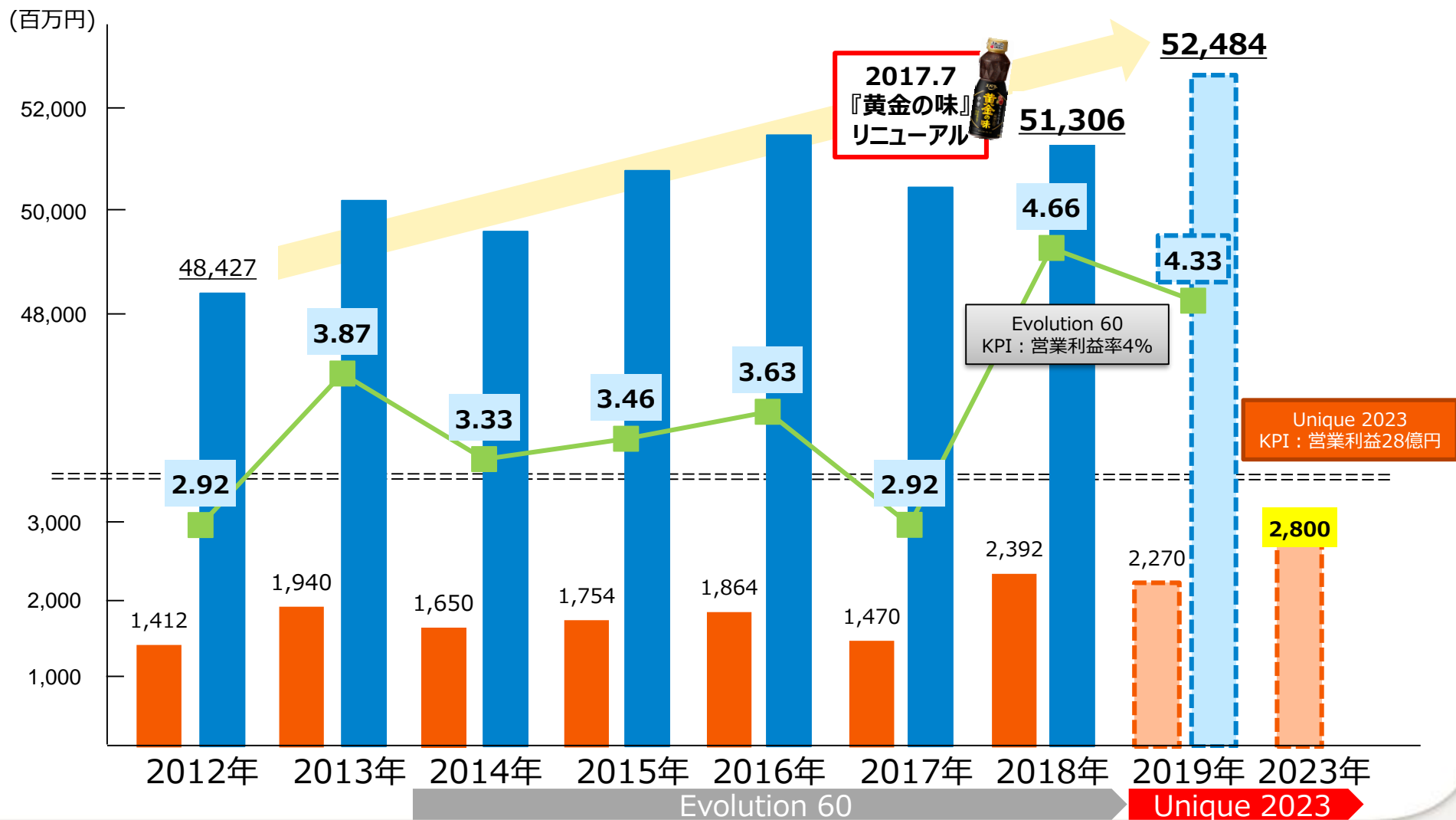
ESG : ガバナンス



売上高と営業利益の推移

■ 売上高 ■ 営業利益率 (%)
■ 営業利益

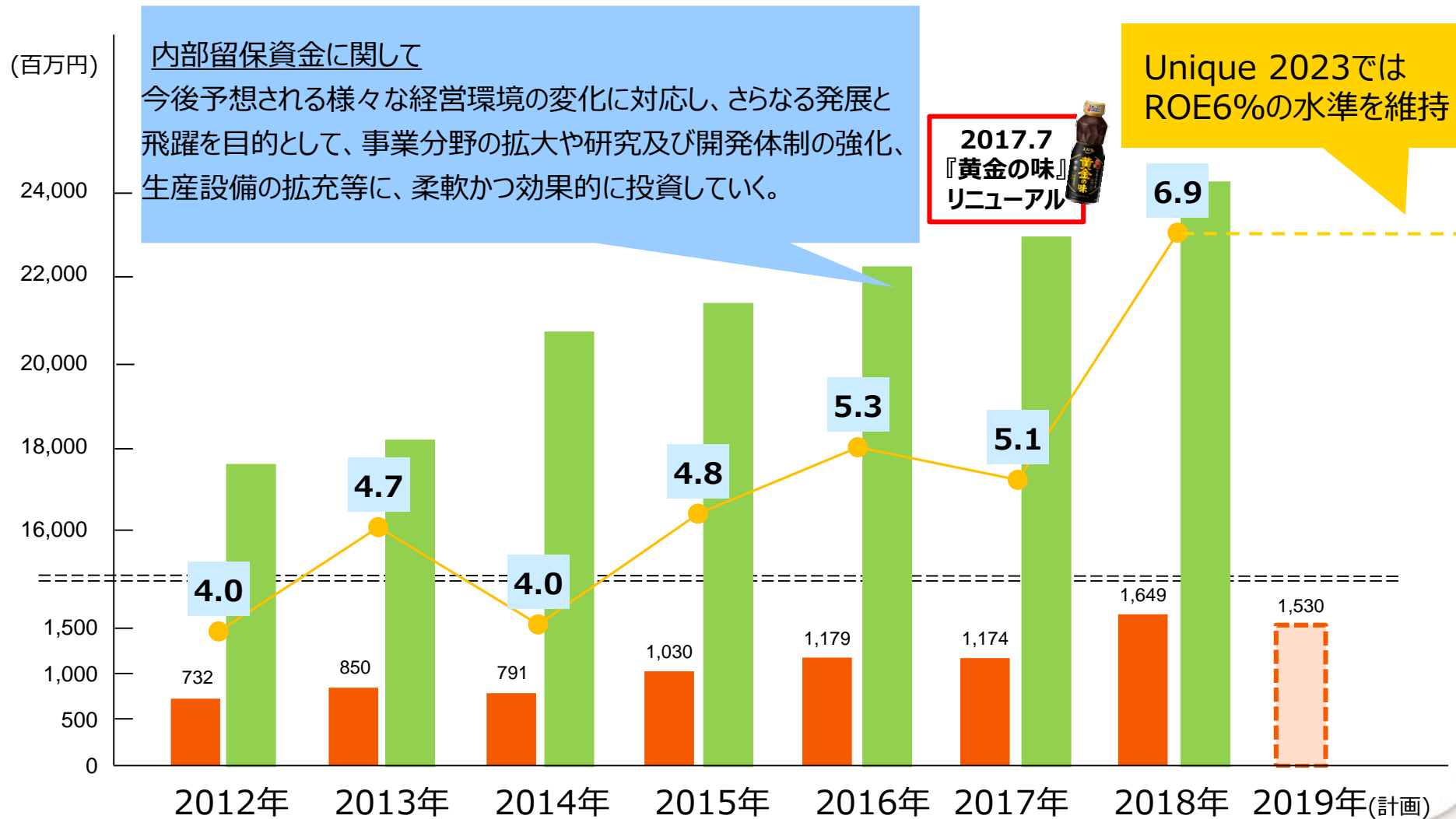
ポイント：売上高は右肩上がりで推移。収益力も『黄金の味』のリニューアル効果等もあり大幅に改善。



純利益額とROEの推移

■ 純資産額 ● ROE (%)
■ 親会社株主に帰属する当期純利益

ポイント：純資産が年々積み上げられるなか、収益力の向上によりROEも継続的に向上。



会社概要

商号	エバラ食品工業株式会社
本店所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい四丁目4番5号
代表者	代表取締役社長 宮崎 遵
事業内容	調味料食品の製造販売
資本金	13億8,713万円
設立	1958年(昭和33年)5月
従業員数	【連結】744名 【単体】529名 (2019年3月末時点)
連結子会社	株式会社 横浜エージェンシー&コミュニケーションズ 株式会社 エバラ物流 荏原食品(上海)有限公司 荏原食品香港有限公司 台湾荏原食品股份有限公司 EBARA SINGAPORE PTE. LTD.
持分法適用会社	株式会社 エバラCJフレッシュフーズ

沿革

1958年	5月	荏原食品株式会社 設立
1968年	1月	『札幌ラーメンの素(味噌スープ)』発売
	3月	『焼肉のたれ・朝鮮風』発売
	7月	エバラ食品工業株式会社に商号変更
1970年	4月	テレビCM 開始
1978年	6月	『黄金の味』発売、テレビCMを全国一斉放映
1980年	7月	群馬工場(群馬県伊勢崎市)稼働
1984年	4月	栃木工場(栃木県さくら市)稼働
	11月	宣伝部門を独立 株式会社横浜エージェンシーを設立
1990年	5月	株式会社エバラ物流を設立
1994年	4月	津山工場(岡山県津山市)稼働
2003年	11月	日本証券業協会に株式を店頭登録
2004年	9月	株式会社サンリパティ横浜(人材派遣業)を子会社化
	12月	ジャスダック証券取引所(当時)に株式を上場
2005年	4月	荏原食品(上海)有限公司を設立
2011年	6月	チルド事業に関する合併会社 株式会社エバラCJフレッシュフーズを設立
2012年	11月	荏原食品香港有限公司を設立
2013年	11月	東京証券取引所市場第二部に市場変更
2014年	4月	株式会社横浜エージェンシーが株式会社サンリパティ横浜を吸収合併
	5月	株式会社横浜エージェンシーが株式会社横浜エージェンシー & コミュニケーションズに商号変更
	5月	本社を横浜市西区みなとみらい四丁目に移転
	12月	東京証券取引所市場第一部に指定
2015年	3月	荏原食品香港有限公司 シンガポール支店を設立
2017年	1月	台湾荏原食品股份有限公司を設立
2018年	8月	EBARA SINGAPORE PTE. LTD.を設立

こころ、はずむ、おいしさ。

エバラ

※ この資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記載は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

※ 本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

● お問い合わせ先：経営企画部（TEL 045-226-0107）